



平成30年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

平成29年11月2日

上場会社名 株式会社アドウェイズ 上場取引所 東
 コード番号 2489 URL <http://www.adways.net/>
 代表者 (役職名) 代表取締役 (氏名) 岡村 陽久
 問合せ先責任者 (役職名) 管理担当上席執行役員 (氏名) 田中 庸一 TEL 03-5331-6308
 四半期報告書提出予定日 平成29年11月10日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有
 四半期決算説明会開催の有無 : 有 (機関投資家・証券アナリスト・報道機関向け)

(百万円未満切捨て)

1. 平成30年3月期第2四半期の連結業績 (平成29年4月1日～平成29年9月30日)

(1) 連結経営成績 (累計) (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益 又は損失 (△)		経常利益 又は損失 (△)		親会社株主に帰属する 四半期純損失 (△)	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
30年3月期第2四半期	21,261	4.6	377	—	396	—	△3	—
29年3月期第2四半期	20,322	3.6	△7	—	△59	—	△256	—

(注) 包括利益 30年3月期第2四半期 △41百万円 (—%) 29年3月期第2四半期 △630百万円 (—%)

	1株当たり 四半期純損失 (△)	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
30年3月期第2四半期	△0.10	—
29年3月期第2四半期	△6.29	—

(注) 売上高を除く各項目の対前年同四半期増減率については、営業損失、経常損失及び親会社株主に帰属する四半期純損失のため記載しておりません。また、潜在株式調整後1株当たり四半期純利益については、潜在株式が存在するものの1株当たり四半期純損失のため、記載しておりません。

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
30年3月期第2四半期	17,962	10,913	60.0	278.31
29年3月期	18,316	11,051	59.6	281.92

(参考) 自己資本 30年3月期第2四半期 10,783百万円 29年3月期 10,923百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
29年3月期	—	0.00	—	2.35	2.35
30年3月期	—	0.00	—	—	—
30年3月期 (予想)	—	—	—	2.35	2.35

(注) 直前に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成30年3月期の連結業績予想（平成29年4月1日～平成30年3月31日）

（％表示は、対前期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	46,000	8.7	560	77.4	730	194.1	220	—	5.68

- （注） 1. 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無
 2. 平成29年3月期の親会社株主に帰属する当期純利益が損失であったため、対前期増減率は記載していません。
 3. 1株当たり当期純利益は、当第2四半期累計期間の期中平均株式数（自己株式を除く）である38,745,731株を通期の期中平均株式数と仮定して算出しております。
 4. 詳細は、添付資料「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

※ 注記事項

（1）当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無

（2）四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

（3）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更：無
 ② ①以外の会計方針の変更：無
 ③ 会計上の見積りの変更：無
 ④ 修正再表示：無

（4）発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	30年3月期2Q	41,583,500株	29年3月期	41,583,500株
② 期末自己株式数	30年3月期2Q	2,837,800株	29年3月期	2,837,700株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	30年3月期2Q	38,745,731株	29年3月期2Q	40,725,900株

※ 四半期決算短信は金融商品取引法に基づく四半期レビューの対象外であります。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

（将来に関する記述等についてのご注意）

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、現時点で入手可能な情報に基づき判断した見通しであり、多分に不確定な要素を含んでおります。実際の業績等は、今後の様々な要因により大きく異なる可能性があります。

（決算補足説明資料及び決算説明会内容の入手方法）

機関投資家・証券アナリスト・報道機関向け決算説明会は、本資料を開示した同日に開催する予定であります。また、決算説明会で配布する資料は、開催日同日に当社ウェブサイト（<http://ir.adways.net/>）にて開示予定であります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想に関する定性的情報	4
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間	6
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	7
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	8
(セグメント情報等)	8
(重要な後発事象)	9
3. その他	9
継続企業の前提に関する重要事象等	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間(平成29年4月1日から平成29年9月30日)の当社グループにおける連結業績は、以下のとおり、前年同期に対して増収増益となりました。

[連結業績]

(単位:千円、端数切捨て)

	前第2四半期 連結累計期間 (平成29年3月期)	当第2四半期 連結累計期間 (平成30年3月期)	対前年同期増減額 (増減率)
売上高	20,322,940	21,261,963	939,023 (4.6%)
営業利益 又は損失(△)	△7,073	377,101	384,175 (—)
経常利益 又は損失(△)	△59,204	396,212	455,417 (—)
親会社株主に帰属する 四半期純損失(△)	△256,000	△3,768	252,232 (—)

売上高は、国内の広告事業が順調に推移したことにより、939,023千円増加の21,261,963千円(前年同期比4.6%増)となりました。

営業利益は、売上総利益が増加したこと及び販売費及び一般管理費を抑制したこと等により377,101千円(前年同期比384,175千円の増加)、経常利益は、営業利益の増加及び為替差損の減少等により396,212千円(前年同期比455,417千円の増加)となりました。

税金等調整前四半期純利益は、関係会社株式評価損及び投資有価証券評価損等による特別損失を計上したものの166,834千円(前年同期比342,553千円の増加)となりました。

上記の結果、親会社株主に帰属する四半期純利益は、法人税等を計上したことにより3,768千円の損失(前年同期比252,232千円の増加)となりました。

[報告セグメント別業績]

(単位:千円、端数切捨て)

		前第2四半期 連結累計期間 (平成29年3月期)	当第2四半期 連結累計期間 (平成30年3月期)	対前年同期増減額 (増減率)
外部 売上高	①広告 事業	スマートフォン 向け広告	8,429,046	8,714,548 285,502 (3.4%)
		PC向け広告	8,895,685	9,083,503 187,818 (2.1%)
		合計	17,324,731	17,798,052 473,320 (2.7%)
	②アプリ・ メディア 事業	アプリ事業	150,410	122,638 △27,772 (△18.5%)
		メディア事業	173,255	223,165 49,909 (28.8%)
		合計	323,666	345,803 22,137 (6.8%)
	③海外事業	2,598,097	3,116,290 518,193 (19.9%)	
④その他	76,445	1,817 △74,628 (△97.6%)		
セグメント利益 又は セグメント損失 (△)	①広告事業	1,294,672	1,363,620 68,948 (5.3%)	
	②アプリ・メディア事業	△46,618	△61,299 △14,681 (—)	
	③海外事業	△392,371	△137,111 255,259 (—)	
	④その他	△128,313	△130,022 △1,709 (—)	

①広告事業

広告事業は、スマートフォンアプリ向け広告サービス「Smart-C」、「AppDriver」並びにPC向けアフィリエイト広告サービス「JANet」を中心に、インターネット上で事業展開を行う企業に対して、インターネット広告を総合的に提供しております。

当第2四半期連結累計期間における広告事業のスマートフォン向け広告は、ゲーム、マンガ及び女性向けアプリ等の広告売上高が増加したことにより、売上高は8,714,548千円(前年同期比3.4%増)となりました。

当第2四半期連結累計期間における広告事業のPC向け広告は、金融関連売上高が減少したもののEC関連を中心に取引が伸長したことにより、売上高は9,083,503千円(前年同期比2.1%増)となりました。

この結果、広告事業の売上高は17,798,052千円(前年同期比2.7%増)、セグメント利益は1,363,620千円(前年同期比5.3%増)となりました。

②アプリ・メディア事業

アプリ・メディア事業は、主に連結子会社であるADWAYS TECHNOLOGY LTD.において、スマートフォンアプリの開発・運営を行うアプリ事業と、連結子会社である株式会社サムライ・アドウェイズにおいて土業向けのポータルサイト等のメディア運営等を行っているメディア事業を展開しております。

当第2四半期連結累計期間におけるアプリ事業は、「古の女神と宝石の射手」等の自社グループタイトルのゲームアプリの売上高が減少したことにより、売上高は122,638千円(前年同期比18.5%減)となりました。

また、メディア事業では、株式会社サムライ・アドウェイズにおいて行っているメディア事業において新規顧客開拓を積極的に行ったことにより、売上高は223,165千円(前年同期比28.8%増)となりました。

この結果、アプリ・メディア事業の売上高は345,803千円(前年同期比6.8%増)、セグメント損失は61,299千円(前年同期は46,618千円の損失)となりました。

③海外事業

海外事業は、中国・香港・台湾・韓国・米国・シンガポール・インドにおいて、現地企業と各国における外国企業を対象として、インターネットマーケティングの総合支援サービスを提供しております。

当第2四半期連結累計期間における海外事業は、EC Data事業の伸張を始め、各国の連結子会社において売上高の増加もしくは販売費及び一般管理費の抑制に努めたことにより、売上高3,116,290千円(前年同期比19.9%増)、セグメント損失は137,111千円(前年同期は392,371千円の損失)となりました。

④その他

その他は、日本及び海外における新規事業等により構成されております。

当第2四半期連結累計期間におけるその他は、前連結会計年度においてインターネットを活用した中古品買取販売事業を営んでいた連結子会社の売却により、売上高は1,817千円(前年同期比97.6%減)、セグメント損失は130,022千円(前年同期は128,313千円の損失)となりました。

(2) 財政状態に関する説明

①資産、負債、純資産の状況

(単位：千円、端数切捨て)

	前連結会計年度 (平成29年3月31日)	当第2四半期 連結会計期間 (平成29年9月30日)	対前期末増減額 (増減率)
資 産 合 計	18,316,780	17,962,249	△354,531 (△1.9%)
負 債 合 計	7,265,250	7,049,211	△216,039 (△3.0%)
純 資 産 合 計	11,051,530	10,913,038	△138,491 (△1.3%)

[資産合計]

- ・流動資産は、前連結会計年度末より184,789千円減少し15,264,501千円となりました。主な要因は、現金及び預金が85,482千円増加したものの、受取手形及び売掛金が253,275千円減少したことによるものであります。
- ・固定資産は、前連結会計年度末より169,741千円減少し2,697,748千円となりました。主な要因は、無形固定資産のその他に含まれるソフトウェア及びソフトウェア仮勘定の合計が50,253千円増加したものの、投資その他の資産のその他に含まれる投資有価証券が124,809千円、無形固定資産に含まれるのれんが90,715千円減少したことによるものであります。

[負債合計]

- ・流動負債は、前連結会計年度末より217,011千円減少し6,927,245千円となりました。主な要因は、未払法人税等が121,942千円増加したものの、支払手形及び買掛金が367,598千円減少したことによるものであります。
- ・固定負債は、前連結会計年度末より971千円増加し121,965千円となりました。主な要因は、その他に含まれる繰延税金負債が1,123千円増加したことによるものであります。

[純資産合計]

- ・純資産は、前連結会計年度末より138,491千円減少し10,913,038千円となりました。主な要因は、利益剰余金が95,118千円、その他有価証券評価差額金が24,371千円及び為替換算調整勘定が20,295千円減少したことによるものであります。

②キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物は、8,312,512千円となりました。

当第2四半期連結累計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

[営業活動によるキャッシュ・フロー]

営業活動によるキャッシュ・フローは、339,586千円の収入(前年同期は254,247千円の支出)となりました。主な要因は、税金等調整前四半期純利益166,834千円、投資有価証券売却及び評価損96,556千円及び減損損失65,819千円を計上したことによるものであります。

[投資活動によるキャッシュ・フロー]

投資活動によるキャッシュ・フローは、178,082千円の支出(前年同期は674,094千円の支出)となりました。主な要因は、投資有価証券の売却による収入185,568千円があったものの、関係会社株式の取得による支出120,000千円、定期預金の預入による支出90,300千円、投資有価証券の取得による支出69,997千円及び無形固定資産の取得による支出66,143千円があったことによるものであります。

[財務活動によるキャッシュ・フロー]

財務活動によるキャッシュ・フローは、139,750千円の支出(前年同期は152,747千円の支出)となりました。主な要因は、連結の範囲の変更を伴わない子会社株式の取得による支出44,644千円及び配当金の支払による支出89,781千円があったことによるものであります。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

当社グループが主に手掛けておりますインターネット広告市場は、国内及び海外のスマートフォン関連ビジネスの市場拡大等を受け、更なる伸張を続けるものと思われれます。また、インターネット広告市場自体の成長、新しいテクノロジーを活用した広告配信及びクリエイティブの向上等の影響で、今後も市場拡大が期待されます。当社グループは、国内及び海外のインターネット広告事業に経営資源を重点的に分配し、広告主(クライアント)数及び提携媒体(メディア)数の増加、大手メディアや独自のアドテクノロジーを持つ企業との戦略的な提携等を行うことで、取引の拡大と売上高の増加を図るとともに、他社との差別化を図ってまいります。また、アジアをはじめとした海外においては、スマートフォン向け広告サービスの拡大を引き続き見込んでおり、各国の市場環境を鑑み、事業展開を行ってまいります。このような状況のもと、当社グループの主力事業であるインターネット広告事業の市場の変化を鑑み、平成30年3月期(平成29年4月1日～平成30年3月31日)の売上高は、46,000百万円を見込んでおります。営業利益は、売上高の増加に伴う売上総利益の増加により560百万円を見込んでおり、経常利益は730百万円、親会社株主に帰属する当期純利益は220百万円を見込んでおります。

なお、当社グループが事業展開を行うインターネット広告を取り巻く市場は、環境が著しく変化するため、個別の業績予想の開示は省略しております。

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、現時点で入手可能な情報に基づき判断した見通しであり、多分に不確定な要素を含んでおります。実際の業績等は、今後の様々な要因により大きく異なる可能性があります。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位:千円)

	前連結会計年度 (平成29年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成29年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	8,853,650	8,939,132
受取手形及び売掛金	6,360,872	6,107,597
たな卸資産	7,711	3,439
繰延税金資産	25,352	29,194
その他	432,401	444,753
貸倒引当金	△230,698	△259,616
流動資産合計	15,449,290	15,264,501
固定資産		
有形固定資産	275,973	281,655
無形固定資産		
のれん	196,269	105,553
その他	122,288	172,490
無形固定資産合計	318,557	278,044
投資その他の資産		
その他	2,396,657	2,250,221
貸倒引当金	△123,698	△112,172
投資その他の資産合計	2,272,959	2,138,048
固定資産合計	2,867,490	2,697,748
資産合計	18,316,780	17,962,249
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	5,284,414	4,916,816
未払法人税等	68,995	190,937
その他	1,790,846	1,819,491
流動負債合計	7,144,256	6,927,245
固定負債		
その他	120,994	121,965
固定負債合計	120,994	121,965
負債合計	7,265,250	7,049,211
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,605,258	1,605,258
資本剰余金	7,294,951	7,294,951
利益剰余金	2,771,058	2,675,940
自己株式	△1,406,527	△1,406,575
株主資本合計	10,264,742	10,169,576
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	320,418	296,047
為替換算調整勘定	337,885	317,590
その他の包括利益累計額合計	658,304	613,637
新株予約権	5,447	5,447
非支配株主持分	123,035	124,376
純資産合計	11,051,530	10,913,038
負債純資産合計	18,316,780	17,962,249

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第2四半期連結累計期間)

(単位:千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年9月30日)
売上高	20,322,940	21,261,963
売上原価	16,922,020	17,493,640
売上総利益	3,400,920	3,768,323
販売費及び一般管理費	3,407,994	3,391,222
営業利益又は営業損失(△)	△7,073	377,101
営業外収益		
受取利息	13,520	16,760
消費税等免除益	513	8
投資有価証券評価益	2,232	5,123
その他	4,870	17,339
営業外収益合計	21,136	39,232
営業外費用		
為替差損	57,734	4,029
持分法による投資損失	1,972	14,375
その他	13,560	1,715
営業外費用合計	73,267	20,120
経常利益又は経常損失(△)	△59,204	396,212
特別利益		
関係会社株式売却益	25,208	—
投資有価証券売却益	—	19,480
特別利益合計	25,208	19,480
特別損失		
関係会社株式評価損	51,494	48,730
投資有価証券評価損	90,227	121,160
関係会社株式売却損	—	80
固定資産除却損	—	13,068
減損損失	—	65,819
特別損失合計	141,721	248,858
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	△175,718	166,834
法人税、住民税及び事業税	61,768	158,445
法人税等調整額	19,260	8,164
法人税等合計	81,028	166,610
四半期純利益又は四半期純損失(△)	△256,746	223
非支配株主に帰属する四半期純利益又は非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	△745	3,992
親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	△256,000	△3,768

(四半期連結包括利益計算書)

(第2四半期連結累計期間)

(単位:千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年9月30日)
四半期純利益又は四半期純損失(△)	△256,746	223
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△20,350	△24,371
為替換算調整勘定	△353,086	△17,670
その他の包括利益合計	△373,437	△42,042
四半期包括利益	△630,183	△41,818
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△613,305	△48,435
非支配株主に係る四半期包括利益	△16,878	6,616

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位:千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	△175,718	166,834
減価償却費	66,446	64,072
のれん償却額	15,857	24,896
貸倒引当金の増減額(△は減少)	26,278	20,166
受取利息及び受取配当金	△14,628	△18,118
投資有価証券売却及び評価損益(△は益)	87,995	96,556
減損損失	—	65,819
関係会社株式評価損	51,494	48,730
関係会社株式売却損益(△は益)	△25,208	80
固定資産除却損	—	13,068
売上債権の増減額(△は増加)	557,645	249,530
仕入債務の増減額(△は減少)	△588,701	△357,660
未払金及び未払費用の増減額(△は減少)	82,906	39,177
未払消費税等の増減額(△は減少)	△58,542	△218,103
その他	△45,594	151,288
小計	△19,769	346,337
利息及び配当金の受取額	14,606	20,310
利息の支払額	△44	—
補助金の受取額	179	910
法人税等の支払額	△249,220	△27,971
営業活動によるキャッシュ・フロー	△254,247	339,586
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の預入による支出	△180,400	△90,300
貸付金の回収による収入	14,809	29,900
貸付けによる支出	△9,710	△12,610
投資有価証券の売却による収入	26,786	185,568
投資有価証券の取得による支出	△163,613	△69,997
連結の範囲の変更を伴う子会社株式の売却による収入	794	0
連結の範囲の変更を伴う子会社株式の売却による支出	△7,665	△266
連結の範囲の変更を伴う子会社株式の取得による支出	△210,100	—
関係会社株式の取得による支出	—	△120,000
有形固定資産の取得による支出	△29,732	△60,801
無形固定資産の取得による支出	△9,181	△66,143
事業譲受による支出	△116,280	—
その他	10,198	26,568
投資活動によるキャッシュ・フロー	△674,094	△178,082
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入れによる収入	160,000	—
短期借入金返済による支出	△160,204	—
連結の範囲の変更を伴わない子会社株式の取得による支出	△1,120	△44,644
新株予約権の買入消却による支出	△55,503	—
自己株式の取得による支出	△1,858	△48
配当金の支払額	△94,060	△89,781
非支配株主への配当金の支払額	—	△5,275
財務活動によるキャッシュ・フロー	△152,747	△139,750
現金及び現金同等物に係る換算差額	△316,565	△26,571
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△1,397,654	△4,817
現金及び現金同等物の期首残高	10,635,272	8,317,330
現金及び現金同等物の四半期末残高	9,237,617	8,312,512

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第2四半期連結累計期間(自平成28年4月1日 至平成28年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント				その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結損 益計算書計上 額(注) 3
	広告事業	アプリ・ メディア 事業	海外事業	計				
売上高 外部顧客への売上高	17,324,731	323,666	2,598,097	20,246,494	76,445	20,322,940	—	20,322,940
セグメント間の 内部売上高又は 振替高	204,081	683	608,648	813,413	14,407	827,820	△827,820	—
計	17,528,813	324,349	3,206,745	21,059,908	90,852	21,150,760	△827,820	20,322,940
セグメント利益 又は損失(△)	1,294,672	△46,618	△392,371	855,683	△128,313	727,369	△734,443	△7,073

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、新規事業等を含んでおります。

2. セグメント利益又は損失の調整額△734,443千円は、主に報告セグメントに配分していない一般管理費等の全社費用であります。

3. セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の営業損失と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失またはのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

該当事項はありません。

(のれんの金額の重要な変動)

「海外事業」セグメントにおいて、MAIDEN MARKETING (INDIA) PVT. LTD. よりポイントアプリ事業の事業譲受を行ったため、のれんが増加しております。当該のれんの増加額は当第2四半期連結会計期間において124,342千円であります。

なお、当該のれんの金額は、暫定的な会計処理の確定に伴う見直し反映後の金額であります。

また、同セグメントにおいて、Mist Technologies株式会社の株式を取得したことに伴い、のれんが増加しております。当該のれんの増加額は、当第2四半期連結会計期間において214,216千円であります。

(重要な負ののれん発生益)

該当事項はありません。

II 当第2四半期連結累計期間(自平成29年4月1日 至平成29年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント				その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結損 益計算書計上 額(注) 3
	広告事業	アプリ・ メディア 事業	海外事業	計				
売上高 外部顧客への売上高	17,798,052	345,803	3,116,290	21,260,146	1,817	21,261,963	-	21,261,963
セグメント間の 内部売上高又は 振替高	424,455	4,438	689,057	1,117,951	31,560	1,149,512	△1,149,512	-
計	18,222,508	350,241	3,805,348	22,378,098	33,377	22,411,475	△1,149,512	21,261,963
セグメント利益 又は損失(△)	1,363,620	△61,299	△137,111	1,165,209	△130,022	1,035,187	△658,085	377,101

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、新規事業等を含んでおります。

2. セグメント利益又は損失の調整額△658,085千円は、主に報告セグメントに配分していない一般管理費等の全社費用であります。

3. セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失またはのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

「海外事業」セグメントにおいて、Mist Technologies株式会社の事業計画を見直したことにより、のれんの減損損失を65,819千円計上しております。

(のれんの金額の重要な変動)

該当事項はありません。

(重要な負ののれん発生益)

該当事項はありません。

(重要な後発事象)

該当事項はありません。

3. その他

継続企業の前提に関する重要事象等

該当事項はありません。